



日本語学級ってなに？



帰国生徒や日本語を母語としない生徒のための学級です。

1 日本に来たばかりで全く日本語がわからない生徒には、

学校生活や日常生活に必要な日本語の学習を進め、日本の生活習慣や文化を理解することを目指します。そして、1日でも早く日本での生活に慣れ、充実した学校生活を送ることができるよう指導・支援を行います。

2 日常会話ができて、学習用語がわからない生徒には、

教科学習のための日本語指導や教科の補習を行い、中学校卒業後の進路を念頭に日本語力の充実と教科の学力の補充を目指します。

日本での生活の違いにとまどっていたり、日本語がわからないために、自分を表現できなったり、本来もっている力を発揮できなったりと、日本語が不自由な子どもたちは、毎日の生活や学習に苦しんでいます。

日本後学級では、生徒一人一人の実態に即して効果的に指導を行うため、できるだけマンツーマン形式で授業を行っています。日本語や各教科や学校生活など幅広い指導を個々に応じて行うことによって、学校をはじめとする日本での生活に、少しでも早く適応してもらうことを目指しています。



志村二中の日本語学級について



志村第二中学校には、都内の中学校でも数少ない日本語学級があります。平成5年度に設置され、平成14年度までは、板橋区内の中学校で唯一の日本語学級でした。ここ数年、通級生の人数が毎年増加し、平成15年度からは板橋第二中学校にも日本語学級が設置されました。

志村第二中学校の日本語学級には、自校の生徒ばかりでなく、板橋区内の主に高島・志村地区の各校から、色々な国の生徒が日本語を学習するために通級してきています。

Q

どんなことを教わっているの？

1

「サバイバル日本語」

挨拶の言葉や、生活に必要な言葉について

- A) 健康で衛生的な生活を送るため・・・『お腹／頭 いたいです』
- B) 安全な生活を送るため・・・『危ない、だめ』『赤はとまれ、緑は進め』
- C) 周囲の仲間との関係をつくるため・・・『ありがとう』『これ、かして』
- D) 学校の生活を円滑に送るため・・・『次なんの勉強？』、教科名、教室の場所

2

「日本語基礎」

文字や文型など、日本語の基礎的な知識や技能について

- A) 発音の指導
- B) 文字・表記の指導
- C) 語彙の指導
- D) 文型の指導



3

「教科学習の支援」

学習言語の確認、教科の補習 について

基礎的な日本語力が身についても、教科書の言葉がわからないため、授業などの学習に参加できない生徒が多くいます。母語に訳すなど補助しながら進めます。簡単な日本語に直すことも重要です。

